

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : ブリティッシュコロンビア大学

留学期間 : 平成 27 年 9 月 5 日 ~ 平成 28 年 4 月 18 日

私はカナダのバンクーバーに八ヶ月間留学にいきました。留学には人それぞれの考え方があり、その過ごし方や感想も千差万別であると思います。留学に行く前、カナダで過ごす間は色々な人と交流を持ち、自ら外に出て行こうと考えていました。実際、現地では学内学外を問わず国籍や年代も異なる様々な人と関わりを持つことができました。しかし一方で、留学では孤独な時間というのも多く、必然的に自分と向き合うことも多い期間でした。大学二回生後期、折り返し地点ともいえる時期に、大学入学からこれまでのこと、さらに大学卒業後を含むこれからのことを考える時間が持てたことはとても重要なことであったと感じています。留学に行く前、学習面では、国際関係学部で学んだ様々な分野の知識が自分の中で上手く繋がっていないことに少し混乱していました。ブリティッシュコロンビア大学で受講した環太平洋研究と国際政治論は、これまでの学習を繋ぎ、自分の興味のある事柄に気付く、貴重な講義であり経験でした。環太平洋研究の講義の中で特に印象深かったのは第二次世界大戦時の日本について北米の視点から学んだことです。これまで第二次世界大戦については小学生の時から多くの場面で学んできました。そのほとんどの内容は第二次世界大戦に対する反省と恒久的な平和がどのように大切なのかといったものでした。一方、北米では第二次世界大戦について日本ほどのマイナスなイメージを抱いていないという印象を受けました。もちろん日本は事実上第二次世界大戦の敗者であり、否定的な意見を持つというのはある意味当たり前のことなのかもしれません。しかし、それ以上にこれまで第二次世界大戦の学習といえばどこか感情的な部分を多く含む学習であったように感じており、対照的にカナダでは第二次世界大戦を客観的に、また多角的に捉えながら学習することが出来たため新しい考え方や視点を持つことが出来たと思います。当時の日本政府がどのように他民族とりわけ周辺のアジア諸国の人々について考えていたか、またどのように扱ってきたのかを知ることは日本国内ではなかなかすることの出来ないことであると思います。国際政治論では、アナーキーな国際社会において国家がどのような戦略を考え行動しているのか、具体的な例を用いて学ぶことが出来たため、これまで以上に政治に関する興味が深まりました。また、この講義にはディスカッションのクラスが付随しており、様々な政治テーマについて議論しました。その内の一つのテーマに日中韓関係があり、その議論は個人的にとっても印象に残るものでした。クラスには私を含め日本人、韓国人、中国人の学生がおり、日中韓関係の特に歴史の問題について意見が対立しました。慰安婦問題や領土問題などについて議論する中で今までの自分の思考に真正面からぶつかる機会もたくさんあり、その度に改めて自分自身で考え直すことが必要でした。しかし、その結果としてこれまでとは異なる視点でそれらの問題を見ることが出来ました。先に述べたように、留学に行く理由や目的は人によって様々なものではありますが、自分の持つ価値観や文化に出会うというのは全ての人が経験することではないかと思います。異なる文化や価値観を面白いと感じて楽しむことの出来る人もいれば、そうではない人もいます。カルチャー

ショックという言葉があるように、異質な文化や価値観というのは時折、すぐには受け入れられないこともありえるでしょう。しかし、私は自分と異なる何かに触れるということが留学における最も大きなメリットの一つであると思います。グローバル化が進む現代では、確かに日本にいながらにして異文化体験をするということも不可能ではないのかもしれませんが、けれども、自分自身が異文化の中で実際に長期間生活をするという経験は日本では簡単に出来ることではありません。自分にとっては異文化であっても、それが誰かにとっては当たり前の文化であり、その環境の中でいかに柔軟にかつ自分の文化や価値観を持ちながら生活するのかということを学ぶことはとても大切なことだと思います。日本は世界各国と比較するとまだまだ国際化が進んでいないとよく言われます。実際に現在の日本が外国人にとって必ずしも住みやすい国であるかと考えると、多くの課題が残されているように感じます。また、近年では多くの外国人観光客が日本を訪れており、ここ大阪でも大勢の外国人観光客を目にするようになりました。日本がよりグローバルな国になるためには、外国人のニーズを知り、それに合わせた国づくり・街づくりをしていくことが必要です。その際に、自分自身が実際に異文化環境の中で一定期間以上生活をし、自分にとって何が不便や不快と感じたのかを知っておくことはとても重要であると感じます。留学は大変なことも多い反面、人生で数少ない貴重な経験や学びを得られる機会なので、積極的に外に出て行動することを心掛けると良いと思います。